

参考資料

表 - 1	長生地域の土地利用・市町村別地目面積.....	29
表 - 2	耕地面積及び耕作放棄地面積.....	29
表 - 3	各農林振興センター別総面積・農業産出額・農家数.....	30
表 - 4	地域別販売農家の耕作放棄地面積.....	30
表 - 5	農振・農用地の面積.....	31
表 - 6	土地基盤の整備状況.....	32
表 - 7	専業別農家数の推移	33
表 - 8	農家率及び農家人口率	33
表 - 9	農家人口と農業従事者数	33
表 - 10	経営耕地面積規模別農家数	34
表 - 11	農業産出額の推移	34
表 - 12	農業産出額からみた長生地域の県内位置	35
表 - 13	生産農業所得の推移	35
表 - 14	農産物販売金額規模別農家数	36
表 - 15	水稻の生産動向	37
表 - 16	水稻の品種別作付動向	37
(表 - 17)	小麦の生産動向	37
表 - 18	主要野菜の栽培動向	38
表 - 19	いも類の生産動向	39
表 - 20	豆類の生産動向	39
表 - 21	主要果樹の栽培動向	39
表 - 22	主要花きの栽培動向	40
表 - 23	施設設置状況	40
表 - 24	家畜の飼養動向	40
表 - 25	農業経営改善計画の営農類型別認定状況.....	41
表 - 26	市町村別農用地利用権設定等の状況.....	42
表 - 27	利用権設定等面積の推移	43
表 - 28	農地法3条の許可状況	43
表 - 29	農地転用の状況	43
表 - 30	長生地域の林業	43
表 - 31	林地面積	43
表 - 32	森林資源の現況	44
表 - 33	栽培方法別生しいたけの生産量の推移	44
表 - 34	地域森林計画対象民有林の人工林年齢別面積	44
表 - 35	保有林規模別林家数	44
表 - 36	森林組合の状況	44
表 - 37	造林・間伐の推移	45
表 - 38	松くい虫被害及び駆除量の推移	45
表 - 39	管内市町村野菜指定関係	45
表 - 40	管内関係団体一覧 管内土地改良区一覧	46
表 - 41	農業関係団体一覧	47
表 - 42	千葉県型集落営農組織一覧	48
表 - 43	農地・水・環境保全向上対策実施地区一覧	49
(参考)	市町村の概要	50
(参考)	千葉県長生農林振興センター組織図・主な業務内容	50
	用語の解説	52

表 - 1 長生地域の土地利用（平成20年）（単位：百 ha・%）

	総面積	農地	山林	宅地	その他
長生地域 （構成比）	327 (100)	113 (35)	70 (21)	37 (11)	106 (32)
千葉県 （構成比）	5,155 (100)	1,504 (29)	1,043 (20)	762 (15)	1,846 (36)

（千葉県統計年鑑）

市町村別地目面積（平成20年）

（単位：ha）

市町村	総面積	田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他
茂原市	10,001	2,388	1,315	1,781	56	1,436	4	95	746	2,181
一宮町	2,302	476	324	294	1	509	-	42	162	495
睦沢町	3,559	719	194	246	-	1,041	39	153	376	792
長生村	2,832	928	526	449	33	235	-	43	113	506
白子町	2,746	875	578	415	1	137	-	13	167	561
長柄町	4,720	725	487	254	113	1,549	29	101	324	1,140
長南町	6,538	1,366	436	305	-	2,102	22	315	575	1,417
計	32,698	7,477	3,859	3,743	203	7,008	93	761	2,463	7,092
県	515,541	86,538	63,906	76,219	1,069	104,326	669	13,325	36,201	133,287

（千葉県統計年鑑）

表 - 2 耕地面積及び耕作放棄地面積

（単位：ha・%）

		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	備考
耕地面積		11,400	11,100	10,500	9,980	
内 訳	田	7,840	7,680	7,260	6,960	
	畑	3,570	3,420	3,270	3,020	
	水田率	68.8	69.2	69.1	69.7	
農家1戸当たり 平均耕作面積（a）		130	141	149	156	
耕作放棄地面積 （ha）		825	751	1,065	1,906	

（作物統計）（農林業センサス）

表 - 3 各農林振興センター別総面積・農業産出額・農家数

振興センター名	総面積 (h a)	産出額 (億円)	農家数 (戸)
千葉	71,254	282.0	9,043
東葛飾	53,978	567.2	8,861
印旛	69,160	679.9	11,539
香取	40,100	544.7	8,460
海匝	31,556	771.2	7,075
山武	42,788	456.1	9,242
長生	32,698	200.7	6,388
夷隅	40,646	110.9	4,311
安房	57,689	311.6	8,698
君津	75,778	299.8	8,493
県	515,661	4224.0	82,101

千葉県農林水産業の動向 18年度版

表 - 4 地域別販売農家の耕作放棄地面積

各農林振興センター別販売農家の耕作放棄地面積等 (単位：a・%)

振興センター名	耕作放棄地面積	経営耕地面積	耕作放棄地比率
千葉	62,531	644,647	9.7
東葛飾	48,638	760,463	6.4
印旛	99,823	1,732,633	5.8
香取	74,570	1,370,759	5.4
海匝	57,872	1,149,492	5.0
山武	85,085	1,284,563	6.6
長生	82,634	631,064	13.1
夷隅	48,933	387,726	12.6
安房	54,573	515,000	10.6
君津	69,466	711,403	9.8
県	684,125	9,187,750	7.4

(農林業センサス)

市町村別販売農家の耕作放棄地面積等 (単位：a・%)

市町村	耕作放棄地面積	経営耕地面積	耕作放棄地比率
茂原市	26,315	203,277	12.9
一宮町	5,704	49,012	11.6
睦沢町	5,793	55,888	10.4
長生村	12,950	90,971	14.2
白子町	8,760	102,848	8.5
長柄町	9,707	46,115	21.1
長南町	13,405	83,166	16.1
計	82,634	631,064	13.5

(農林業センサス)

表 - 5 農振・農用地の面積

[農業振興地域の面積]

(平成20年12月1日現在 単位: ha)

市町村	農業 振興地域	総面積	農 用 地					混牧 林地	農業用施 設用地	混牧林地 以外の山 林原野	その他
			農地			採草 放牧地	計				
			田	畑	樹園地						
茂原市	茂原	8,421	2,474	1,314	0	0	3,788	0	27	1,639	2,967
一宮町	一宮	2,130	455	228	58	12	753	0	1	577	799
睦沢町	睦沢	3,559	779	242	0	36	1,057	0	7	1,130	1,365
長生村	長生	2,347	972	469	6	0	1,447	0	3	266	631
白子町	白子	2,500	877	578	0	0	1,455	0	21	131	893
長柄町	長柄	4,584	782	312	72	34	1,200	0	1	1,773	1,610
長南町	長南	6,538	1,233	310	14	22	1,579	0	2	2,442	2,515
長生地域合計		30,079	7,572	3,453	150	104	11,279	0	62	7,958	10,780
県合計		397,106	85,332	53,913	3,142	1,292	143,679	18	887	127,601	124,921

出典は、農林水産部農地課「農業振興地域管理状況調査」より

[農用地区域の面積]

(平成20年12月1日現在 単位: ha)

市町村	農業 振興地域	総面積	農 用 地					混牧 林地	農業用施 設用地	混牧林地 以外の山 林原野	その他
			農地			採草 放牧地	計				
			田	畑	樹園地						
茂原市	茂原	2,780	1,977	776	0	0	2,753	0	27	0	0
一宮町	一宮	573	361	152	47	12	572	0	1	0	0
睦沢町	睦沢	687	593	58	0	29	680	0	7	0	0
長生村	長生	1,173	849	321	0	0	1,170	0	3	0	0
白子町	白子	1,213	827	365	0	0	1,192	0	21	0	0
長柄町	長柄	686	521	155	0	9	685	0	1	0	0
長南町	長南	946	856	68	0	22	946	0	0	0	0
長生地域合計		8,058	5,984	1,895	47	72	7,998	0	60	0	0
県合計		105,151	70,174	30,096	47	1,116	103,186	0	692	0	0

出典は、農林水産部農地課「農業振興地域管理状況調査」より

表 - 6 土地基盤の整備状況

水田の整備状況

単位：a

区分	茂原市	一宮町	睦沢町	長柄町	長南町	白子町	長生村	合計
全体面積	259,980	45,480	74,650	78,200	123,000	87,700	97,400	766,410
うち、農振農用地面積	198,870	36,220	59,350	52,160	85,800	82,700	85,000	600,100
うち、30a規模の整備済み面積	28,680	21,240	49,050	42,740	50,320	51,900	54,070	298,000
うち、1ha程度以上の整備済み面積	0	0	0	0	0	1,800	0	1,800
未整備面積	170,190	14,980	10,300	9,420	35,480	29,000	30,930	300,300
整備率（％）	14	59	83	82	59	63	64	50

（長生農林振興センター調べ）

畑の整備状況

単位：a

区分	茂原市	一宮町	睦沢町	長柄町	長南町	白子町	長生村	合計
全体面積	149,633	29,810	20,610	41,800	31,000	57,800	47,900	378,553
うち、農振農用地面積	78,170	21,280	5,770	16,450	6,800	36,700	32,600	197,770
うち、30a規模の整備済み面積	47,020	8,050	3,080	0	3,350	36,700	24,910	123,110
未整備面積	31,150	13,230	2,690	16,450	3,450	0	7,690	74,660
整備率（％）	60	38	53	0	49	100	76	62

（長生農林振興センター調べ）

水田の整備率

水田を対象に標準区画30aで整備され、かつ、稲作以外の作物を取り入れた複合経営が成り立つよう必要な土地基盤の条件整備（排水路整備、暗渠排水整備等）を行った水田面積の合計が農振農用地全体面積に占める率

畑の整備率

畑地等を対象に、ほ場整備により10a以上に整備された合計が農振農用地全体面積に占める率

表 - 7 専兼業別農家数の推移

(単位：戸・%)

		昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	備 考
総農家戸数		9,602 (100)	8,754 (100)	7,893 (100)	7,043 (100)	6,388 (100)	
内 訳	専 業	1,072 (11)	986 (11)	743 (9)	786 (11)	828 (13)	
	第 1 種兼業	1,153 (12)	840 (10)	708 (9)	637 (9)	500 (8)	
	第 2 種兼業	7,377 (77)	6,928 (79)	5,458 (69)	4,482 (64)	3,628 (57)	
	自給的農家			984 (13)	4,482 (64)	1,432 (22)	

17 年は林家を含む(農林業センサス)

表 - 8 農家率及び農家人口率

(単位：戸・人・%)

	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	備 考
総世帯数	37,806	41,879	48,344	54,672	54,504	
総農家戸数	9,602	8,754	7,893	7,043	6,388	
農家率	25.4	20.9	16.3	12.9	11.7	
総人口	137,954	145,680	157,772	163,386	158,533	
総農家人口	45,882	41,617	36,663	31,908	14,105	17 年は販売農家の農業従事者数
農家人口率	33.3	28.6	23.2	19.5	8.9	

(千葉県統計年鑑)農林業センサス)

表 - 9 農家人口と農業従事者数

(単位：戸・%)

	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	備 考
農 家 人 口 (農家人口率)	45,954 (33.3)	41,617 (28.6)	36,663 (23.2)	31,908 (19.5)	14,105 (8.9)	17 年は販売農家の 農業従事者数
農業従事者数 (60 歳以上の構成比)	24,517 (27.3)	22,676 (35.4)	20,571 (41.4)	19,427 (45.1)	14,105 (47.7)	17 年の 60 歳以上 6,735 人
基幹的農業従事者数 (農業従事者数に占める割合)	13,125 (53.5)	6,560 (28.9)	6,127 (29.8)	4,218 (21.7)	5,521 (39.1)	

(農林業センサス)

表 - 1 0 経営耕地面積規模別農家数

(単位：戸・%)

		昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	備 考
経 営 耕 地 面 積	0.3ha 未満 (例外設定含む)	1,055 (11)	1,106 (13)	29 (0)	21 (0)	74 (1)	(構成比)
	0.3ha ~ 0.5ha	1,427 (16)	1,300 (15)	1,185 (15)	1,003 (14)	847 (13)	
	0.5ha ~ 1.0ha	3,389 (35)	3,063 (35)	2,655 (34)	2,346 (34)	1,920 (30)	
	1.0ha ~ 1.5ha	2,062 (21)	1,722 (20)	1,614 (20)	1,290 (19)	1,021 (16)	
	1.5ha ~ 2.0ha	928 (10)	836 (9)	729 (9)	580 (8)	479 (7)	
	2.0ha ~ 3.0ha	596 (6)	544 (6)	480 (6)	428 (4)	398 (6)	
	3.0ha ~ 5.0ha	125 (1)	155 (2)	164 (2)	160 (2)	165 (3)	
	5.0ha 以上	20 (0)	28 (0)	53 (1)	77 (1)	113 (2)	
	自給農家			984 (13)	1,138 (16)	1,432 (22)	
農家戸数	9,602	8,754	7,893	7,043	6,388		

(農林業センサス)

表 - 1 1 農業産出額の推移

(単位：百万円・%)

	農 業 産出額	耕 種						畜産	その他	備 考
		計	米	野菜	果実	花き	その他			
平成 2 年	24,064	19,976	9,447	7,905	482	600	1,512	4,046	42	
構成比	100	83.0	39.8	32.8	2.0	2.5	6.3	6.8	0.2	
7 年	24,404	21,210	9,373	9,187	567	814	1,269	3,182	12	
構成比	100	86.9	38.4	37.6	2.3	3.3	5.3	13.0	0.1	
12 年	21,510	17,950	7,730	7,580	680	760	1,200	3,580	0	
構成比	100	83.4	35.9	35.2	3.2	3.5	5.6	16.6	0.0	
15 年	22,350	19,220	8,830	8,240	340	730	1,080	3,130	0	
構成比	100	86.3	39.5	36.9	1.5	3.3	4.8	14.0	0.0	
16 年	20,070	16,730	6,580	7,830	520	720	1,080	3,340	0	
構成比	100	83.7	32.6	39.6	2.4	3.1	6.0	16.3	0.0	
17 年	19,470	15,960	6,370	7,390	470	730	1,000	3,510	0	
構成比	100	82.0	32.7	38.0	2.4	3.7	5.1	18.0	0.0	
18 年	18,920	15,640	6,240	7,120	530	780	970	3,280	0	
構成比	100	82.7	33.0	37.6	2.8	4.1	5.1	17.3	0.0	

(生産農業所得統計)

表 - 1 2 農業産出額からみた長生地域の県内位置 (平成 18 年)

(単位: 億円%)

	農業 産出額	耕 種					畜 産	備考
		計	米	野菜	果実	花き		
1	海 匝 787.6	印 旛 578.6	香 取 122.0	海 匝 357.2	東葛飾 79.9	安 房 98.6	海 匝 278.6	
2	印 旛 653.9	海 匝 508.6	山 武 107.1	東葛飾 304.5	印 旛 35.0	海 匝 26.6	香 取 177.7	
3	香 取 521.8	東葛飾 434.8	印 旛 101.6	印 旛 300.4	千 葉 15.6	印 旛 24.3	君 津 106.1	
4	東葛飾 456.1	香 取 344.0	海 匝 85.6	山 武 186.7	安 房 13.4	山 武 17.6	千 葉 87.8	
5	山 武 427.9	山 武 344.0	君 津 63.7	香 取 104.7	長 生 5.3	千 葉 9.2	山 武 83.8	
6	安 房 298.0	安 房 219.5	長 生 62.4	千 葉 98.3	君 津 5.2	君 津 9.0	安 房 78.0	
7	千 葉 277.7	千 葉 190.0	千 葉 47.1	長 生 71.2	夷 隅 4.9	香 取 7.9	印 旛 75.1	
8	君 津 272.6	君 津 166.3	安 房 40.6	君 津 64.0	香 取 4.7	長 生 7.8	夷 隅 62.4	
9	長 生 189.2	長 生 156.4	東葛飾 38.7	安 房 62.9	山 武 2.2	東葛飾 5.9	長 生 32.8	
10	夷 隅 129.3	夷 隅 66.7	夷 隅 38.1	夷 隅 20.7	海 匝 1.4	夷 隅 0.6	東葛飾 21.2	
千葉県	4,014	3,009	706	1,570	167	207	1003	
長生地域の占有率	4.7	5.2	8.8	4.5	3.1	3.8	3.3	

(生産農業所得統計)

表 - 1 3 生産農業所得の推移

(単位: 百万円・千円)

	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 18 年	備考
生産農業所得	10,274	13,784	14,254	10,840	7,370	6,620	
基幹的農業従事者 1人当り生産農業所得	1,121	1,734	2,191	1,668	1,324	1,199	千円
耕地 10a 当たり生産 農業所得	87	121	128	95	74	69	千円

(生産農業所得統計)

表 - 1 4 農産物販売金額規模別農家数

(単位：戸・%)

	総農家数	販売なし	50万円未満	50万円~ 100万円	100万円~ 200万円	200万円~ 300万円	300万円~ 500万円	500万円~ 700万円	700万円~ 1000万円
昭和60年	9,602 (100)	1,132 (12)	2,706 (28)	2,016 (21)	1,873 (20)	612 (6)	633 (7)	302 (3)	158 (2)
平成2年	8,754 (100)	1,180 (14)	2,522 (29)	1,972 (23)	1,531 (17)	484 (6)	426 (5)	232 (3)	189 (2)
平成7年	7,893 (100)	400 (5)	1,992 (25)	1,741 (22)	1,228 (16)	458 (6)	351 (4)	253 (3)	165 (2)
平成12年	7,043 (100)	307 (4)	1,973 (28)	1,559 (22)	871 (12)	332 (6)	279 (4)	182 (3)	138 (2)
平成17年	6,388 (100)	363 (6)	1,489 (23)	1,282 (20)	797 (13)	272 (4)	250 (4)	128 (2)	140 (2)

	1000万円~ 1500万円	1500万円~ 2000万円	2000万円~ 3000万円	3000万円~ 5000万円	5000万円以上	自給的農家	備 考
昭和60年	98 (1)	33 (0)	25 (0)	14 (0)			14は3000万円以上
平成2年	115 (1)	43 (0)	30 (0)	30 (0)			30は3000万円以上
平成7年	156 (2)	57 (1)	56 (1)	35 (0)	17 (0)	984 (13)	
平成12年	129 (2)	58 (1)	46 (1)	20 (0)	11 (0)	1,138 (16)	
平成17年	111 (2)	42 (1)	39 (1)	26 (0)	17 (0) 内訳は備考	1,432 (22)	5000万円~1億円 15 1億円~3億円 1 3億円~5億円 1

(農林業センサス)

表 - 15 水稻の生産動向

(単位：ha・kg・t)

		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成21年	備考
作付面積		6,840	6,340	6,420	5,500	5,420	5,420	(ha)
10a 当たり収量		494	485	485	553	534	517	(kg)
収穫量		33,800	30,700	31,100	30,400	28,900	28,040	(t)
作況 指数	国	104	103	102	102	90	98	
	県	105	102	101	101	96	99	

(農林水産統計)

表 - 16 水稻の品種別作付動向 (平成21年)

(単位：%)

う る ち				も ち		備考
コシヒカリ	83.5	ふさこがね	8.0	ヒメノモチ	0.2	
ふさおとめ	6.8	その他	0.1	ツキミモチ	0.2	
ひとめぼれ	0.5			その他	0.3	
あきたこまち	0.3	小計	99.3	小計	0.7	

(長生農林振興センター調べ)

(表 - 17 小麦の生産動向

(単位：ha・kg・t)

		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成20年	備考
作付面積		217	155	74	98	94	93	(ha)
10a 当たり収量		281	286	298	307	201	153	(kg)
収穫量		610	443	221	301	189	142	(t)

(農林水産統計)

表 - 18 主要野菜の栽培動向

(単位：ha)

	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成15年	平成18年	備考
だいこん	123	111	110	94	88	87	
かぶ	10	10	9	16	16	16	
にんじん	21	18	24	21	21	19	
ごぼう	17	19	17	14	10	9	
はくさい	28	27	30	28	26	25	
キャベツ	50	53	56	47	42	37	
ほうれんそう	52	60	55	66	60	56	
ねぎ	201	198	198	165	183	176	
たまねぎ	172	99	72	50	49	41	
なす	47	49	47	48	41	41	
きゅうり	102	57	54	48	46	40	
トマト	137	150	150	142	133	121	
かぼちゃ	18	21	21	20	20	20	
ピーマン	5	5	3	5	5	5	
いちご	8	8	10	11	11	7	
すいか	49	26	26	12	12	12	
メロン	68	66	63	40	40	38	
さやえんどう	23	19	19	19	19	19	
えだまめ	41	42	42	40	40	40	
さやいんげん	34	52	54	51	51	51	
スイートコーン	44	77	92	90	90	90	
さといも	77	77	67	65	52	48	
レタス	2	23	43	46	47	43	
カリフラワー	-	-	-	5	5	2	
ブロッコリー	13	10	10	15	15	15	
そらまめ	35	42	43	48	48	45	
しょうが	6	5	7	10	9	9	
合計	1,383	1,324	1,322	1,216	1,179	1,112	

(青果物生産出荷統計)

表 - 19 いも類の生産動向

(単位：ha・kg・t)

		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成14年	平成15年	平成18年	備考
甘 し よ	作付面積	70	79	74	72	61	61	44	(ha)
	10a当り収量	2,280	2,210	2,200	2,330	2,330	2,210	2,100	(kg)
	収 量	1,600	1,750	1,630	1,630	1,420	1,350	924	(t)
ば れ い し よ	作付面積	79	64	61	54	53	53	53	(ha)
	10a当り収量	1,910	1,930	1,790	1,770	1,720	1,650	1,720	(kg)
	収 量	1,510	1,240	1,090	956	911	875	911	(t)
計	作付面積	149	143	135	126	114	114	97	(ha)

(千葉農林水産統計年報・青果物生産出荷統計)

表 - 20 豆類の生産動向

(単位：ha・kg・t)

		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成15年	平成18年	平成20年	備考
落 花 生	作付面積	1,310	660	448	348	296	363		(ha)
	10a当り収量	125	190	214	211	199	211		(kg)
	収 量	1,640	1,250	959	734	589	766		(t)
大 豆	作付面積	248	282	255	217	171	234	151	(ha)
	10a当り収量	109	118	116	124	156	130	113	(kg)
	収 量	270	334	296	269	267	304	170	(t)
計	作付面積	1,419	942	703	565	467	597		(ha)

* 落花生は平成20年データなし(千葉農林水産統計年報)

表 - 21 主要果樹の栽培動向

(単位：ha)

	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成15年	平成18年	備考
日本なし	63	64	62	59	65	56	
くり	30	30	21	20	20	19	
みかん	13	15	8	2	2	2	
合 計	106	104	91	81	87	77	

(青果物生産出荷統計)

表 - 2 2 主要花きの栽培動向（平成20年）

（単位：ha）

	品 目	面 積	備 考
切り花類	バラ	3.0	
	ガーベラ	3.0	
	千両	9.0	
	その他	3.4	
	小 計	18.4	
鉢物類	シクラメン等	2.5	
	洋ラン	1.0	
	花壇苗	0.3	
	小 計	3.8	
植木類	植木	35.0	
合 計		57.2	

（長生農林振興センター調べ）

表 - 2 3 施設設置状況

（単位：a）

	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	備 考
ガラス温室	1,383	1,823	2,063	1,956	-	
ハウス	7,744	8,139	7,300	6,562	-	
合 計	9,127	9,962	9,363	8,518	8,850	

（農林業センサス）

表 - 2 4 家畜の飼養動向

（単位：戸・10頭・100羽）

	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成15年	平成17年	平成18年	備 考
乳 用 牛	戸 数	195	144	124	95	80	73	68
	頭 数	536	438	403	338	277	252	242
	1戸当り(頭)	27.5	30.4	32.5	35.6	33.7	34.5	35.6
肉 用 牛	戸 数	40	31	23	14	10	11	7
	頭 数	32	15	11	13	10	13	X
	1戸当り(頭)	8.0	4.9	4.8	9.3	6.9	11.8	X
豚	戸 数	131	44	16	13	10	4	4
	頭 数	1,150	949	563	905	827	1,010	X
	1戸当り(頭)	87.8	215.7	351.9	696.2	918.3	2,525	X
採 卵 鶏	戸 数	105	13	13	10	10	5	5
	羽 数	5,005	5,060	3,487	3,100	4,992	4,000	X
	1戸当り(羽)	4,770	38,923	26,823	33,533	62,400	68,000	X

（千葉農林水産統計年報）

<表 - 25> 農業経営改善計画の営農類型別認定状況（平成21年3月末現在）

		茂原市	一宮町	睦沢町	長生村	白子町	長柄町	長南町	計
		うち法人数	うち法人数	うち法人数	うち法人数	うち法人数	うち法人数	うち法人数	うち法人数
単 一 経 営	稲作	5	1	15	11	4	1	3	40
	施設野菜	3	5	2		12			22
	果樹類		10				1		11
	施設花き・花木	1	1	5		1	1		9
	その他の作物		1			2	1		4
	酪農	3		1	2		4	3	13
	養豚	1							1
	養鶏		1	1				1	3
小計		13	19	24	13	19	8	7	103
複 合 経 営	稲作 + 麦類作	1						1	2
	雑穀・いも類・豆類	1						1	2
	工芸農作物	9			1		1		11
	露地野菜	1			2	3			6
	施設野菜	8	48		10	21		3	90
	果樹類		3		1				4
	施設花き・花木	3				7		2	12
	その他の作物	5			1	1			7
	酪農	2	1		6	1		1	11
	小計	30	52		21	33	1	8	145
その他		1	2	2	1	6	3		15
小計		31	54	2	22	39	4	8	160
総 計		44	73	26	35	58	12	15	263

表 - 2 6 市町村別農用地利用権設定等の状況

(平成21年3月末現在 単位：h a)

市町村	利用権設定等面積								所有権移転面積				+ 合計	設定率 (%)	農用地 面積	認定農 業者数
	地 目 別			期 間 別				小計	地 目 別			小計				
	田	畑	その他	3年未 満	3～6年 未満	6～10年未 満	10年以上		田	畑	その他					
茂原市	181.1	15.9		0.6	58.7	69.2	68.5	197.0	11.4	2.1		13.5	210.5	7.6	2,779.3	44
一宮町	149.3	27.3		3.3	62.1	56.9	54.3	176.6	1.2	0.5		1.7	178.3	24.0	743.9	80
睦沢町	276.3	12.4	4.9	18.8	57.6	70.2	147.0	293.6	3.7	0.3		4.0	297.6	29.8	998.5	26
長生村	278.9	22.7		6.9	62.0	125.3	107.4	301.6	9.7	1.2		10.9	312.5	26.7	1,169.4	37
白子町	146.9	16.5			16.1	70.7	76.6	163.4	20.7	4.7		25.4	188.8	15.6	1,213.5	67
長柄町	25.3	7.3		2.1	26.1	0.4	4.0	32.6	0.7			0.7	33.3	4.9	685.7	12
長南町	228.9	5.7		7.3	54.3	86.3	86.7	234.6	4.5	0.3		4.8	239.4	15.1	1,581.0	15
合計	1,286.7	107.8	4.9	39.0	336.9	479.0	544.5	1,399.4	51.9	9.1		61.0	1,460.4	15.9	9,171.3	281
全県	9,178.9	2,097.6	62.0	562.7	3,024.6	2,898.7	4,853.5	11,339.5	1,378.1	425.7	51.8	1,855.6	13,195.1	10.8	122,677.3	6,909

表 - 27 利用権設定等面積の推移

(単位: ha)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	備考
利用権設定面積	1,219.9	1,290.8	1,403.7	1,482.9	1,460.4	

(長生農林振興センター調べ)

表 - 28 農地法3条の許可状況

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	備考
件数	25件	25件	21件	19件	28件	23件	
面積	63,668 m ²	63,716 m ²	54,282 m ²	86,572 m ²	73,518 m ²	69,267 m ²	

(長生農林振興センター調べ)

表 - 29 農地転用の状況

	総数		許可				備考
			4条		5条		
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	
平成15年	354件	214,627 m ²	47件	34,336 m ²	307件	180,291 m ²	
平成16年	369件	272,705 m ²	58件	49,062 m ²	311件	223,643 m ²	
平成17年	348件	280,064 m ²	49件	37,417 m ²	299件	242,647 m ²	
平成18年	341件	230,136 m ²	44件	29,102 m ²	297件	201,034 m ²	
平成19年	299件	198,799 m ²	30件	19,262 m ²	269件	179,537 m ²	
平成20年	283件	184,513 m ²	35件	26,414 m ²	248件	158,099 m ²	

(長生農林振興センター調べ)

表 - 30 長生地域の林業(平成17年)

	森林面積	人工林率	蓄積	林野率	林家数	生しいたけ生産量	たけのこ	備考
長生地域	9,211ha	26.8%	11,934千m ²	28.2%	983戸	79t	43t	
県内順位	7	8	8	4	8	5	2	

(農林業センサス・千葉県林業統計書)

表 - 31 林地面積

(単位: ha)

	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成20年	備考
立木地	人工林	3,654	3,478	3,273	2,511	2,511	2,471
	天然林	5,949	5,959	5,510	5,510	5,510	5,416
	小計	9,603	9,437	8,723	8,021	8,021	7,887
竹林	272	270	272	270	259	311	
その他	628	599	628	599	1,022	1,014	
合計	10,507	10,307	10,063	9,330	9,325	9,211	

(千葉県林業統計書)

表 - 3 2 森林資源の現況 (平成 2 0 年)

(単位: ha・千 m³)

	面 積				蓄 積			備 考
	総 数	人工林	天然林	その他	総 数	人工林	天然林	
総 数	9,211	2,471	5,510	1,304	975	581	394	
国有林	2		2		1		1	
民有林	9,209	2,511	5,508	1,304	974	581	393	

(千葉県林業統計書)

数値はラウンドしたため合計と内訳は一致しない。

表 - 3 3 栽培方法別生しいたけの生産量の推移

(単位: t)

	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 2 0 年	備 考
原木シイタケ	89.7	88.5	94.1	105.0	87.5	54.7	
菌床シイタケ	18.2	20.5	49.4	45.2	44.8	24.2	
計	107.9	109.0	143.5	150.2	132.3	78.9	

調査期間は 1 月 ~ 12 月

(長生農林振興センター調べ)

表 - 3 4 地域森林計画対象民有林の人工林年齢別面積 (平成 2 0 年)

(単位: ha)

年齢	1	2	3	4	5	6	7	8	9
面積 (ha)	10	6	4	11	21	94	73	250	377

年齢	10	11	12	13	14	15 以上	計	備 考
面積 (ha)	489	466	253	143	43	139	2,460	

数値はラウンドしたため合計と内訳は一致しない。

(千葉北部地域森林計画書)

表 - 3 5 保有林規模別林家数 (平成 17 年)

(単位: ha)

規模	1 ~ 3	3 ~ 5	5 ~ 10	10 ~ 20	20 ~ 30	30 ~ 50	50 以上	計	備 考
林家数	801	103	59	15	3	1	1	981	

(農林業センサス)

表 - 3 6 森林組合の状況

(単位: 組合・人)

	平成 7 年	平成 12 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 2 0 年	備 考
組合数	1	1	1	1	1	1	1	
組合員数	2,650	2,650	2,647	2,647	2,841	2,840	2,810	

(森林組合の現況から)

表 - 37 造林・間伐の推移

(単位: ha)

	昭和 60 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	備 考
人工造林	18	3	0	1	3	0	1	
間 伐	6	6	7	5	6	7	5	

(千葉県林業統計書)

表 - 38 松くい虫被害及び駆除量の推移

(単位: m³・ha)

	平成 2 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	備考
被害材積	359	238	90	39	47	54	60	
駆除材積	199	150	65	25	30	29	35	
薬剤防除 述べ面積	118	11	13	11	11	10.6	9.9	

海岸県有林は除く。

(農林振興センター調べ)

表 - 39 管内市町村野菜指定関係

市 町 村	種 別	指 定 年 月 日	備 考
茂原市	夏秋きゅうり	S41. 8.18	
	冬春トマト	S41. 8.18	
	秋冬ねぎ	S43.10.15	
一宮町	夏秋きゅうり	S41. 8.18	
	冬春トマト	S41. 8.18	
	夏秋トマト	H14. 3.22	
睦沢町	夏秋きゅうり	S41. 8.18	
	冬春トマト	S41. 8.18	
長生村	夏秋きゅうり	S41. 8.18	
	冬春トマト	S41. 8.18	
	夏秋トマト	H14. 3.22	
	たまねぎ	H16. 2.18	
白子町	夏秋きゅうり	S41. 8.18	
	冬春トマト	S41. 8.18	
	たまねぎ	S41. 8.18	
	夏秋トマト	H14. 3.22	
長柄町	夏秋きゅうり	S41. 8.18	
	冬春トマト	S41. 8.18	
長南町	夏秋きゅうり	S41. 8.18	
	冬春トマト	S41. 8.18	

表 - 4 0 管内関係団体一覧

名 称	所 在 地	電 話 番 号	備 考
関東農政局茂原統計・情報センター	茂原市萩原町 3-20-7	0475-24-7871	
関東農政局千葉農政事務所地域第二課	茂原市萩原町 3-20	23-1205	
茂原市 農政課	茂原市道表 1	20-1526	
一宮町 産業観光課	一宮町一宮 2457	42-1427	
睦沢町 地域振興課	睦沢町下之郷 1650-1	44-2505	
長生村 産業課	長生村本郷 1-17	32-2114	
白子町 産業課	白子町関 5074-2	33-2111	
長柄町 事業課	長柄町桜谷 712	35-4447	
長南町 産業振興課	長南町長南 2110	46-3397	
長生農業協同組合	茂原市高師 1153	24-5115	
わかしお農業共済組合長生センター	茂原市高師町 3-11-5	23-1506	
長生酪農農業協同組合	一宮町一宮 3198	42-3707	
千葉県森林組合長生事業所	茂原市茂原 1041-1	24-3546	
長生農業者研修センター 事務局（長生郡市広域市町村圏事務組合）	長柄町船木 157 茂原市下永吉 2101	35-3580 23-0107	
長生農業管理センター	長生村七井土 1452	32-2227	
茂原樟陽高等学校	茂原市上林 283	22-3315	

(順不同)

管内土地改良区一覧表

(単位：ha)

名 称	所 在 地	電話番号	理 事 長 名	面 積	組 員 数
松瀧	長生村小泉 206	32-1725	森 佐衛	690	1,233
長生郡長南町東部	長南町芝原 335-1	47-0441	大木 静二	150	280
赤目川	茂原市本納 1,876	34-3136	富田 晃輝	629	1,093
長生郡一宮町西部	一宮町一宮 8537-2	42-3514	福邊 重信	56	119
長生郡一宮町東部	一宮町東浪見 5,410-6	42-2542	鶴澤 勝	273	526
内谷川沿岸	長生村本郷 2,548	32-0093	市原 育也	639	1,065
長生郡長柄町小榎本	長柄町小榎本 66	35-3566	渡辺 規明夫	23	27
茂原市二宮	茂原市真名字花立 2,250-2	24-6926	蕨 武之	130	247
茂原市新治	茂原市下太田 192	34-1450	常泉 仁	43	122
計	9			2,633	
両総	東金市東金 1,163	52-3145	森 英介	17,663	21,343
本納出張所	茂原市本納 3,041	34-3113	梅田 久夫	4,898	5,586
東郷関工区	白子町関 5,025-1	33-2264	加藤 古志郎	819	1,067
松瀧工区	白子町八斗 468-1	33-2296	大多和 四郎	524	789
茂原支部	長生村本郷 2,174-1	32-0021	小倉 庫人	277	448
高根支部	長生村本郷 2,174-1	32-4328	麻生 勘一	876	1,074

表 - 4 1 農業関係団体一覧

平成22年2月末現在

名 称	所在地（事務局）	電話番号	代表者名	主な構成員
長生地域農林業振興協議会	茂原市茂原1102-1 （長生農林振興センター 地域振興部企画振興課）	0475-2 2-1751	田中 豊彦	市町村、農業委員会連合会、長生農業協同組合、わかしお農業共済組合、森林組合、長生酪農協等
長生地域畜産振興協議会	茂原市茂原1102-1 （長生農林振興センター 地域振興部企画振興課）	0475-2 2-1751	中村 種良	市町村酪農組合、出荷組合、長生農協、養豚・養鶏農家、家畜商組合
長生地区鶏卵需給調整協議会	茂原市茂原1102-1 （長生農林振興センター 地域振興部企画振興課）	0475-2 2-1751	鶴澤 正明	鶏卵生産者
千葉県農業協会養鶏部会長生支部	茂原市茂原1102-1 （長生農林振興センター 地域振興部企画振興課）	0475-2 2-1751	山田 稔成	鶏卵生産者
長生農業改良普及事業協議会	茂原市茂原1102-1 （長生農林振興センター 地域振興部改良普及課）	0475-2 2-1771	林 和雄	市町村、長生農業協同組合、わかしお農業共済組合、長生農業管理センター
長生農業研究会	茂原市茂原1102-1 （長生農林振興センター 地域振興部改良普及課）	0475-2 2-1771	高仲 茂	農業研究会員
長生地区指導農業士会	茂原市茂原1102-1 （長生農林振興センター 地域振興部改良普及課）	0475-2 2-1771	篠崎 義則	指導農業士
アグリライフ長生	茂原市茂原1102-1 （長生農林振興センター 地域振興部改良普及課）	0475-2 2-1771	秋葉 節子	農村女性
千葉県農業士協会長生支部	茂原市茂原1102-1 （長生農林振興センター 地域振興部改良普及課）	0475-2 2-1771	長島 好正	農業士
長生YPC	茂原市茂原1102-1 （長生農林振興センター 地域振興部改良普及課）	0475-2 2-1771	清宮 智洋	農村青少年
広域農道運営協議会	茂原市道表1 （茂原市役所）	0475-2 3-2111	田中 豊彦	茂原市、長南町、睦沢町、いすみ市
一宮川等流域環境保全推進協議会	一宮町一宮2457 （一宮町役場）	0475-4 2-1430	玉川 孫一郎	管内全市町村、各種団体
長生土地改良推進協議会（H22.4.1設立予定）	茂原市茂原1102-1 （長生農林振興センター 基盤整備部）	0475-2 5-1143	林 和雄	管内全市町村、土地改良区等

<表-42> 千葉県型集落営農組織一覧

番号	市町村名	組織名	設立年度	集落数	参加農家数	担い手数
1	茂原市	(有)アグリテック441	H.15	3	6	6
2	茂原市	(農)新治営農組合	H.14	5	85	5
茂原市 計				8	91	11
3	一宮町	(農)原営農組合	S.63	1	6	6
4	一宮町	(農)東浪見営農組合	S.63	1	7	7
一宮町 計				2	13	13
5	睦沢町	(農)川島営農組合	H.2	1	46	9
6	睦沢町	(農)寺崎新町営農組合	H.10	1	7	7
睦沢町 計				2	53	16
7	長生村	高根北部ライスセンター利用組合	S.54	1	17	5
8	長生村	金田オペレーター組合	S.60	1	4	4
9	長生村	南部上ノ原オペレーター組合	S.60	1	5	5
10	長生村	中之郷小橋オペレーター組合	S.60	1	5	1
11	長生村	宮成営農組合	H.1	1	4	4
12	長生村	小泉営農組合	H.6	1	8	8
13	長生村	(農)八積西部営農組合	H.15	1	4	4
長生村 計				7	47	31
14	白子町	古所ライスセンター利用組合	S.54	1	6	1
15	白子町	北高根西営農組合	H.3	1	5	1
16	白子町	(農)南白亀営農組合	H.4	1	8	1
17	白子町	白子ライスセンター	H.12	1	5	1
18	白子町	南日当農業機械利用組合	H.2	1	16	1
19	白子町	白子育苗センター	S.47	1	7	1
20	白子町	福島営農組合	H.12	1	14	4
白子町 計				7	61	10
21	長柄町	(農)水上第一営農組合	H.16	5	10	10
22	長柄町	水上第二営農組合	H.16	3	12	10
23	長柄町	日吉第一営農組合	H.16	2	5	5
24	長柄町	長柄第一営農組合	H.16	5	5	5
長柄町 計				15	32	30
25	長南町	(農)長南町東部営農組合	H.8	14	197	9
26	長南町	(農)関原営農組合	H.18	1	18	4
27	長南町	(農)グリーンファーム長南西部	H.19	5	18	3
28	長南町	長南西部営農組合	H.18	5	217	5
29	長南町	長南町佐坪営農組合	H.17	1	50	4
30	長南町	長南町水沼・岩撫・竹林営農組合	H.17	3	97	5
31	長南町	長南町山内営農組合	H.15	1	70	5
32	長南町	地引農機利用組合	H.12	1	8	3
33	長南町	給田営農組合	H.13	1	10	3
34	長南町	小生田営農組合	H.15	1	16	4
長南町 計				33	701	45
合 計				74	998	156

市町村別集落営農組織の概要(表-42の集計)

市町村	組織数	集落数	参加農家数	担い手数
茂原市	2	8	91	11
一宮町	2	2	13	13
睦沢町	2	2	53	16
長生村	7	7	47	31
白子町	7	7	61	10
長柄町	4	15	32	30
長南町	10	33	701	45
計	34	74	998	156

<表-43> 農地・水・環境保全向上対策実施地区一覧（平成21年度）

	地区名	活動組織名	協定農用地面積（ha）					備考
			田	畑	草地	営農活動の有無		
茂原市	新治	下太田環境保全向上対策協議会	15.60	14.30	1.30	0.00		H19採択
	早野	早野地域資源保全会	15.00	15.00	0.00	0.00		H19採択
	七渡	七渡農地水環境保全会	53.93	29.20	24.73	0.00		H21採択
	3地区		84.53	58.50	26.03	0.00	0地区	
一宮町	船頭給	船頭給地区環境保全の会	21.90	21.90	0.00	0.00		H19採択
	新地	新地地区環境保全の会	23.25	23.25	0.00	0.00		H19採択
	宮原	宮原地区環境保全の会	10.12	6.31	3.81	0.00		H19採択
	一宮町東部	一宮町東部地域保全会	359.41	236.36	123.05	0.00		H20採択
	4地区		414.68	287.82	126.86	0.00	0地区	
睦沢町	睦沢	睦沢町自然管理協議会	1,056.80	778.80	242.00	36.00	有	H19採択
	1地区		1,056.80	778.80	242.00	36.00	1地区	
長生村	南部・高崎・上ノ原	高根中央環境保全会	52.40	37.30	15.10	0.00		H19採択
	下村	宮成地域環境保全会	28.50	24.50	4.00	0.00		H20採択
	2地区		80.90	61.80	19.10	0.00	0地区	
白子町	北日当	北日当環境整備委員会	19.00	11.70	7.30	0.00		H19採択
	南日当	南日当環境保全会	34.10	27.40	6.70	0.00		H19採択
	福島	福島環境保全会	53.48	48.68	4.80	0.00		H19採択
	南白亀	南白亀環境保全会	345.05	253.92	91.13	0.00		H20採択
	4地区		451.63	341.70	109.93	0.00	0地区	
長柄町	高山	高山地区活動組織	22.48	20.40	2.08	0.00		H19採択
	力丸	力丸地区活動組織	24.49	23.64	0.85	0.00		H19採択
	長富	長富地区保全活動協議会	18.82	17.86	0.96	0.00		H19採択
	篠網稻塚	篠網稻塚地区活動組織	17.83	16.79	1.04	0.00		H20採択
	4地区		83.62	78.69	4.93	0.00	0地区	
長南町	岩川	岩川地区保全協議会	39.43	36.11	3.32	0.00		H19採択
	関原	関原地区保全協議会	20.67	19.84	0.83	0.00		H19採択
	埴生川	埴生川地区保全対策協議会	112.47	90.13	22.34	0.00		H19採択
	小沢	小沢地域保全会	21.79	21.48	0.31	0.00		H19採択
	長南西部	長南西部地区保全活動協議会	96.03	89.09	6.94	0.00		H19採択
	長南東部	長南東部地区環境保全協議会	144.22	139.22	5.00	0.00	有	H19採択
	千手堂	千手堂地域保全協議会	16.63	15.67	0.96	0.00		H19採択
	下小野田	下小野田地区保全協議会	18.57	18.52	0.05	0.00		H20採択
	下千田	下千田環境保全会	18.97	16.55	2.42	0.00		H20採択
	中之台	中之台地区保全協議会	15.91	15.58	0.33	0.00		H20採択
	10地区		504.69	462.19	42.50	0.00	1地区	
7市町村	28地区		2,676.85	2,069.50	571.35	36.00	2地区	

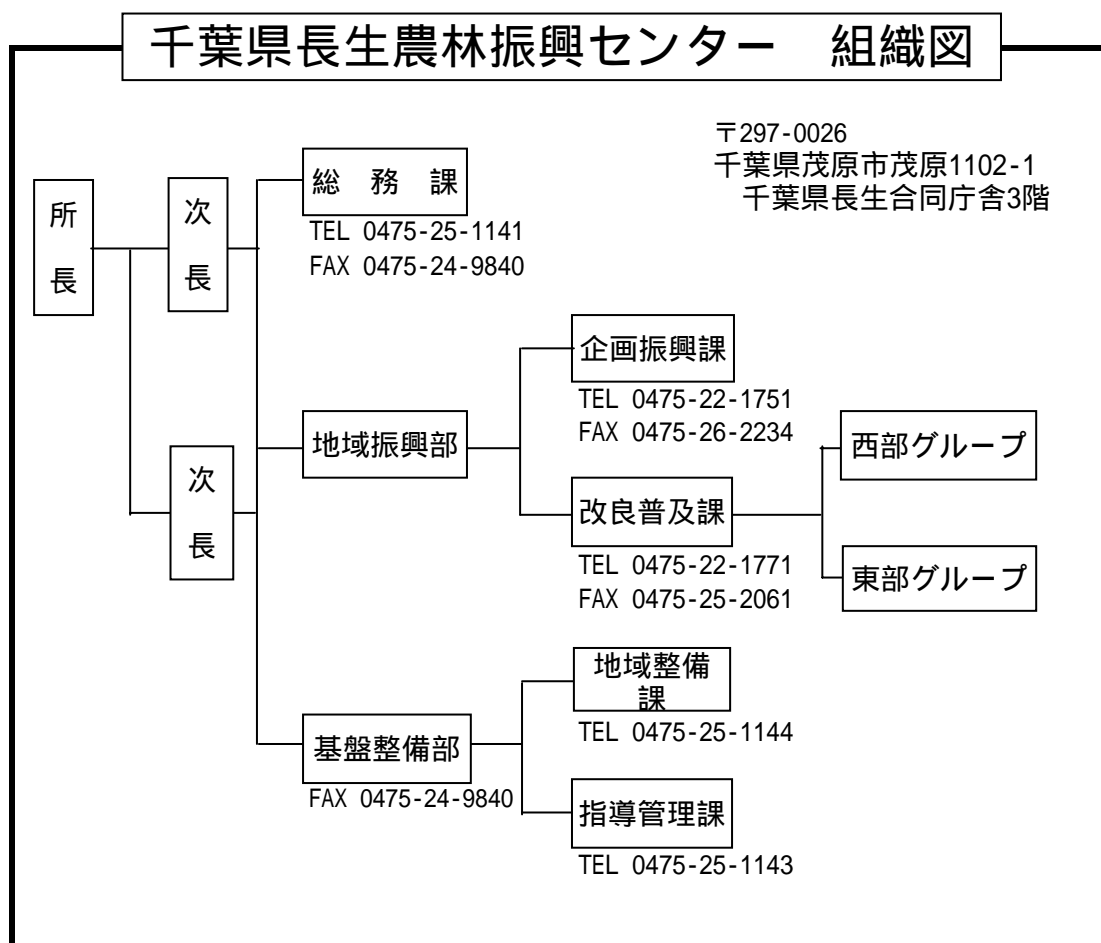
(参考)

市町村の概要

	旧町村数	集落数	農家数 (戸)	経営耕地 面積(ha)	土地持ち 非農家数 (戸)	土地持ち 非農家所 有面積 (ha)	耕作放棄 地面積 (ha)
茂原市	10	79	2,021	2,076	916	547	601
一宮町	4	23	496	503	170	106	109
睦沢町	3	15	576	520	480	274	161
長生村	3	35	771	942	236	217	221
白子町	3	31	712	1,048	383	274	179
長柄町	3	41	700	470	323	214	283
長南町	5	62	1,112	853	686	343	352
計	31	286	6,388	6,412	3,194	1,975	1,906

(2005農林業センサス)

(参考)



長生農林振興センターの主な業務内容

総務課		<ul style="list-style-type: none"> 1 人事、服務 2 予算管理、庶務 3 入札、契約
地域振興部	企画振興課	<ul style="list-style-type: none"> 1 地域農林業施策の企画立案 2 園芸・農産・畜産の生産振興対策 3 農業制度金融 4 農産物の消費拡大・流通対策 5 農業経営相談・新規就農窓口 6 食育の推進・食品表示 7 ちばエコ農業の推進 8 農薬の安全・適正使用 9 農林業災害 10 農地転用許可・農地の保全確保 11 グリーン・ブルー・ツーリズムの推進 12 農地・水・環境保全向上対策の推進 13 遊休農地利活用・地域資源循環の推進 14 有害鳥獣・中山間地域対策 15 森林計画・林地開発許可・造林補助金
	改良普及課	<ul style="list-style-type: none"> 1 作物・野菜・果樹・花き・畜産・地域戦略・経営・生活・養蚕に関する技術の普及指導 2 ちばエコ農業の推進に係わる栽培技術指導 3 気象公災害 4 植物防疫対策（農薬の安全・適正使用指導） 5 新規就農対策支援 6 林業に関する技術及び知識の普及
基盤整備部	地域整備課	<ul style="list-style-type: none"> 1 県営かんがい排水事業 2 県営農道環境整備事業 3 県営湛水防除事業
	指導管理課	<ul style="list-style-type: none"> 1 土地の買収・登記 2 土地改良財産の管理 3 土地改良区の指導

用語の解説

用語	説明
あ	
暗きよ	水路が、鉄道、道路などの他の構造物を横断する場合に設ける埋設水路。または、地下排水のために地中に埋設された施設をいう。
暗渠排水	暗渠とは通常土中に埋設された排水構造物を言うが、土地改良においては、水田の地下水位を低下させるため吸水性の高い素焼きの陶管等を刳殻などの被服材と共に田面下に埋設し、乾田化を促進するための施設を言う。
え	
エコファーマー	「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」に基づき、土づくり、減化学肥料、減化学農薬栽培の計画を作成し、県知事から認定を受けた農業者（個人又は農業生産法人）のこと。制度資金の特例措置が受けられ、全国共通マークの利用ができる。
か	
改正農地法	平成21年12月から施行。食料の安定供給を図るための重要な生産基盤である農地について、転用規制の厳格化等によりその確保を図るとともに、農地の貸借に係る規制の見直し、農地の面的な利用集積を図る事業の創設等によりその有効利用を促進することを目的に改正された。
改正食糧法	平成22年4月1日から施行。米穀を出荷・販売する全業者を対象として遵守すべき事項を定められたもので、使用目的を限定して生産・販売される米を「用途限定米穀」と位置づけ、用途外への横流れを防ぐ措置が講じられた。 *食糧法 米の生産、流通、消費をめぐる情勢が大きく変化する中、生産者の創意工夫の発揮、消費者ニーズへの的確な対応、流通の合理化などへの国民の要請の高まり等を受け、国民の主食であるお米を安定的に消費者に供給するために、需給と価格の安定を図ることを目的に、平成6年12月に「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」（食糧法）が制定され、平成7年11月1日から施行された。
家族経営協定	家族が農業経営をするにあたって、農業経営主と配偶者や後継者が自由な意思にもとづいて経営目標や役割分担、労働報酬、労働条件・生活役割分担などを文書で締結するもの。
家畜排せつ物法（略語）	「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」のこと。平成11年11月1日施行。家畜排せつ物の野積み、素掘りの禁止
かんがい排水事業 かん排（略語）	基幹的な農業用水利施設の新規建設、既存施設の改修等を行う事業で、県営事業は国費50%県費25%地元25%で受益面積が200ha以上で実施

用語	説明
間伐	木々が育ってきて、混み合ってくると森林の中が暗くなり、下草などが生育なくなるとともに、木自体ももやし状になり災害に弱い森林となってしまう。 これを防ぎ、森林を健全な状態に保つために行う抜き切りの作業。
き 客土	目的にかなった土壌に改良するため、他の場所から搬入される土砂のこと、あるいはその行為をいう。 事務指針上は埋立用の盛土材とは区別され、耕作用の表土として利用可能な土砂のこと。
基幹的水利施設	農業用水利施設のうち支配面積(用水施設は水かかり面積、排水施設は排水農地面積)が100ヘクタール以上の規模をもつ農業用水利施設
基幹的農業従事者	農業に主として従事した世帯員(農業就業人口)のうち、普段の主な状態が「主に仕事(農業)」である者
GAP(農業生産工程管理)	GAP手法(Good Agricultural Practice)とは、農業者自らが、(1)農作業の点検項目を決定し、(2)点検項目に従い農作業を行い、記録し、(3)記録を点検・評価し、改善点を見出し、(4)次回の作付けに活用するという一連の「農業生産工程の管理手法」(クロスチェック手法)のことです。この手法は、農産物の安全確保のみならず、環境保全、農産物の品質の向上、労働安全の確保等に有効な手法である。
く クラインガルデン	クラインガルデンとは、ドイツ語では(klein=小さい、Garten=庭)を意味し、園全体、あるいは個人が開設者から借りている区画。
グリーン・ブルー ツーリズム(造語)	グリーン・ツーリズムに同じ。グリーンとブルーの一体感を出すために合体させた造語。ただし、「千葉県型グリーン・ブルーツーリズム」は、農山漁村での滞在型余暇活動、日帰りでの農林水産業体験活動、身近な市民農園等での農業体験活動、直売所等を介した地元農林水産物の購入活動を指す。
け 兼業農家	世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる農家をいう。
こ 高病原性鳥インフルエンザ	鶏に対して特に高い死亡率と症状を示す鳥インフルエンザであり、特定のウィルスによる家畜伝染病である。高病原性鳥インフルエンザが、食品(卵肉)を食べることにより、人に感染した例は世界的にも報告されていない。平成16年1月に日本では79年ぶりに山口、大分、京都で発生した。
耕作放棄地	以前耕地であったもので、過去一年以上作物を栽培せず、しかも、この数年の間にふたたび耕作するはっきりした意志のない土地をいう。

用語	説明
米粉	米を挽いて粉にしたもの。適正に製粉されたものはパン加工（米粉パン）に使用されている。 含水率が高く、モチモチし食感がよい。反面、日持ちせず、機械製造に難。 米消費拡大の一手法として、16年度農水省が全国組織を立ち上げ、推進している。
米戸別所得補償モデル事業	平成22年度から意欲ある農家が水田農業を継続できる環境を整えることを目的に、恒常的に生産に要する費用が販売価格を上回る米に対して、所得補償を国からの直接支払いをするモデル事業としてスタートする。

さ

里山	人里近くの樹林地又はこれと草地、湿地、水辺地等が一体となった土地。 里山条例第2条の1では、「人が日常生活を営んでいる地域に隣接し、又は近接する土地のうち、人による維持若しくは管理がなされており、又はかつてなされていた一団の樹林地又はこれと草地、湿地、水辺地その他これに類する状況にある土地とが一体になっている土地。」と定義されている。
里山条例【略称】	千葉県里山の保全、整備及び活用の促進に関する条例
サンプスギ	サンプスギは、山武地方で200年以前から育てられてきた挿し木による品種。木の形状は、通直・完満、心材部は鮮紅色で、花粉が少なく、耐乾性に優れているので、戦後も積極的に植栽されてきました。

し

自給的農家	経営耕地面積30a未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家
指導農業士	農業従事経験年数15年以上・55歳までの者で、優れた農業経営を実現し、農業後継者の育成に熱意のあるもの。農林振興センター所長の推薦により、知事が認証している。
地盤沈下対策事業	地盤沈下によって生じた農地及び農業用施設の効用低下を回復するため、農業用排水施設の新設又は改修、客土等を行う。
JAS法（略語）	「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律」（昭和25年法律第175号）は、略称「JAS法」と言っている。その内容は、日本農林規格（JAS規格）による検査に合格した製品にJASマークをつける「JAS規格制度」と、品質表示基準に従った表示をすべての製造業者又は販売業に義務付ける「品質表示基準制度」の2つからなっている。
集落営農	集落の話し合いなどによる将来像を基に、集落全体で水田などの土地利用を効率的に考え、必要に応じた組織をつくり営農していくこと。

用語	説明
食育	消費者が望ましい食習慣の実現や食の安全について、自ら考えることを促進するとともに、子供の頃から「食」の安全、「食」の選び方や組み合わせ方などを教え、「食」について関心を持ち、自ら考えることを身につけさせる取組み。
食育推進計画	食育基本法に基づき、内閣府に設置された食育推進会議が作成した食育推進基本計画を基本として、都道府県、市町村はそれぞれ、食育推進計画を作成するよう努めなければならないとされている。千葉県は平成20年11月「元気な『ちば』を創る『ちばの豊かな食卓づくり』計画」を策定・公表した。
食品表示ウォッチャー	JAS法による食品表示がより適正に行われるように、日常の買物などで継続して食品販売店などの食品の品質表示状況をモニターするとともに、不適正な食品表示を発見した場合には、通報していただく方々のこと。(H17 50名)
女性起業活動	女性が主たる経営を担い、主に地域産物を使い、女性の収入につながる経済活動を女性起業と呼んでいる。
新規需要米	国内主食用米や加工用米以外の米穀で、飼料用米、米粉用米、バイオ燃料用米、WCS用稲など
森林施業計画	森林所有者が森林施業に関する5カ年の計画（伐採・造林・保育等）を作成し、市町村長又は知事の認定を得ることにより優遇措置が講じられる制度で、計画的な施業を実施することで森林資源内容が改善されるとともに、林業経営基盤が確立され、所得や資金計画も有利となる。
す	
水田整備率	標準区画30a規模（地形条件により10a含む）以上で整備され、かつ、稲作以外の作物を取り入れた複合経営が成り立つよう必要な土地基盤の整備を行った水田面積の割合
スギ非赤枯性溝腐病	キノコの仲間である白色腐朽菌の「チャアナタケモドキ」が枯枝または枯枝痕から侵入し、枝の上下方向に伸長しながら幹を腐朽させる病気。本県の代表品種であるサンプスギに多く発生する。 幹が大きく変形し、強度が著しく低下するためスギの経済的価値を損なうとともに、景観を損なう。また、風倒を起こしやすくなり危険になるなどの害もある。
ストックマネジメント	既存施設の有効活用を図り、建設から寿命が来るまでの、維持管理費を含めたすべての経費を低減させることを目的として施設の機能診断を行い、それを元に機能保全計画を立案し、計画的・効率的な施設の維持管理を行うこと。 ストック＝既存施設、マネジメント＝運用管理

用語	説明
せ	
生産緑地	生産緑地法により指定された、市街化区域内農地等。指定要件は、500㎡以上で、30年間の長期営農が義務付けられている。
制度金融	農林水産業振興のため、経営規模の拡大や事業の改善を行うのに必要な資金を、長期、低利で利用できるように国や県、市町村が利子補給したり、また、県や農林漁業金融公庫が直接融資したりする制度のことである。
専業農家	世帯員の中で兼業従事者（調査期日前1年間に30日以上雇用兼業に従事した者又は調査期日前1年間に販売金額が15万円以上ある自営兼業に従事した者）が1人もいない農家をいう。
た	
大区画	上記ほ場整備事業においてより機械化農業に適した区画として造成したおおむね1ha以上の区割り
第1種兼業農家	農業所得を主とする兼業農家をいう。
第2種兼業農家	農業所得を従とする兼業農家をいう。
WTO	世界貿易機関の略。1995年に発足、スイス・ジュネーブに本部がある。WTO協定の管理・運営、貿易紛争の処理等を担うとともに、加盟国間の貿易交渉の場を提供する。149カ国・地域が加盟。
男女共同参画	人権尊重の理念を社会に根付かせ真の男女平等を目指す概念であり、とりわけ、男女があらゆる分野の政策・方針決定の場に平等（同等）に参画することを重視する。
湛水防除事業	土地条件の変化により、湛水被害を生ずる恐れのある地域で、これを未然に防止するための排水施設の新設・改修を行う。
ち	
千産全消（造語）	千葉県産の新鮮でおいしい、安心・安全な農産物を、首都圏・全国に向けてPRし、消費してもらうことを目的とした言葉。
千産千消（造語）	地産地消に対し、千葉県産の新鮮でおいしい、安心・安全な農産物を、千葉県内で消費してもらうことを目的とした言葉。
千葉県型集落営農	集落自らが主体となって、農業者のみならず女性や高齢者、都市住民など多様な人材の参加による生産基盤の維持、担い手の確保など、集落内の住民合意に基づき、いきいきとした農山漁村づくりを目指す取組み。

用語	説明
ちばエコ農業	農業の自然環境に与える負荷を軽減し、生産者と消費者のお互いの顔が見える農業を実現し、消費者の求める安全・安心な農産物の供給体制を作るために、通常と比べて農薬と化学肥料を2分の1以上減らした栽培を行う産地の指定やこれらの産地などで栽培された農産物について、県独自の認証を行う制度である。
ちばエコ農産物	県が定める標準的な技術基準に比べて農薬と化学肥料を2分の1以上低減した栽培によって生産された農産物を、県が審査して認証したものである。
中山間地域 (中山間地域総合整備事業 における中山間の定義)	過疎、山振、半島及び特定山村のいずれかの法指定地域内であり、農業生産基盤整備事業を実施する地域について林野率が50%以上かつ農用地の傾斜が1/100以上の面積が全農用地面積の50%以上を占める地域をいう。

て

天地返し	表土と下層土を反転置換させること。農地造成の場合は、表土をはいで仮置きしておき埋立て後その表土を覆土することをいう。
------	------------------------------------------------------------

と

特定農業団体	地域の農地の3分の2以上を農作業受託により集積する相手方として、地域の地権者の合意を得た任意組織で、5年以内に農業生産法人となることを前提としている。 地域の地権者から依頼があったときは、農作業を引き受ける義務を負う。
特定農業法人	地域の農地を責任を持って引き受け耕作を行うとして、地域合意の下で市町村長の認定を受けた農業生産法人で、地域の地権者から依頼があったときは、農作業の受託や農地を借り受ける義務を負う。
土地持ち非農家	農家（経営耕地面積10アール以上又は過去1年間の農産物の販売金額が15万円以上あった世帯）以外で耕地及び耕作放棄地を5アール以上所有している世帯。
トレーサビリティ	食品の生産、処理、流通などの各段階で、原材料の仕入れや食品の製造元、販売先などを記録、保管し、食品のたどってきたルートと情報を把握できる仕組み。

用語	説明
に	
地域担い手育成総合支援協議会	認定農業者等の担い手の育成・確保を目的に、全国、県、市町村の各段階で関係機関、団体等で構成される組織。担い手に対する支援活動を総合的に実施する。
乳用牛能力検定（牛群検定）	乳牛の乳量・乳成分などを月1回測定することにより、能力を判定し、能力の高い乳牛を確保する
認定就農者	65歳未満の者が就農するため、農業経営や資金調達などの計画を作成して、知事が認定した者
認定農業者	自ら作成した農業経営の改善計画が、市町村から認定された、魅力ある農業経営を目指す農業者

の

農家	経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯または農産物販売金額が年間15万円以上ある世帯（1990年以降の定義）
農業（生産）基盤整備	農業生産の基盤となる農地及び用水、排水施設、農道等の農業用施設の整備
農業就業人口	自営農業のみに従事した者または自営農業以外の仕事に従事していても年間労働日数でみて自営農業の方が多い者
農業従事者	15歳以上の世帯員で年間1日以上農業に従事した者
農業集落排水事業（事業主体は市町村）	農業振興地域内の受益個数20戸以上を対象に、生活雑排水と、し尿を浄化処理する施設を整備し、農村生活環境の改善と農業用排水、公共水域の水質保全を図り、併せて処理水の再利用と発生活泥を有機資源として農地還元をする。
農業振興地域（農振地域）	農業振興地域とは、おおむね10年にわたり総合的に農業振興を図るべき地域をいい、地域の自然的、経済的及び社会的諸条件を考慮して知事が関係市町村に協議して指定する。農業振興地域は、通常、国土利用計画法に基づく土地利用基本計画における農業地域と一致し、直接農用地として利用すべき土地（農用地区域）のみならず、農用地区域と一体として農業振興を図る地域（例：農用地区域以外の農地のほか、農村集落や農業者が利用する施設、農業以外の用途に供される小規模な土地）なども含まれる。なお、都市計画法の市街化区域、用途地域、都市的な既成の市街地などは、農振地域には指定しないこととされており、一方、市街化調整区域については、積極的に農業振興地域に指定することとされている。

用語	説明
農業生産法人	<p>農地法上、耕作目的での農地の取得が認められている法人で、次の要件を備えたもの（農地法第2条第7項）。平成16年1月時点で全国に7,383法人ある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農事組合法人、合名会社、合資会社、株式会社（定款で株式の譲渡につき取締役会の承認を要する旨の定めがあるものに限る。）又は有限会社のいずれか。 ・法人の事業は、主たる事業が農業であること。 ・その法人の構成員のすべてが、農地等を提供した個人、農業に常時従事する者などであること。 ・経営責任者の数の過半をその法人の常時従事者である理事等で占め、かつ、その過半数が基準日数以上農業に従事するもので占めること。以上を全て満たさなければならない。
農業農村整備事業 NN事業（略語）	<p>土地改良事業は、土地改良法による農業生産基盤の整備を行う事業であるが、近年農村環境の整備に関する事業等の土地改良法事業以外の事業も実施されており、耕地課、農村整備課が行うすべての事業の総称</p>
農業用水利施設 農業用排水施設	<p>農地に農業用水を送水したり、農地から降雨時の排水等を流下させるための施設で、ダム、ため池、揚水機場等の水源施設や用水路等の送水施設、または排水機場、排水路等の排水施設</p>
農業士	<p>自己の経営の発展と地域において農業青年のリーダーとしての役割を果たすことを目的として、25歳から概ね35歳までの者で、農業に意欲的な青年農業者。本人の申請により、知事が認証している。</p>
農事組合法人	<p>農業協同組合法に基づく農業者の協同組織。農協よりも簡易な手続きで成立する。（届出制）</p>
農振法	<p>農業振興地域の整備に関する法律（昭和44年7月1日法律第58号）の略。目的：農業を振興すべき地域の指定と当該地域の農業的整備のための施策の計画的推進を図り、農業の健全な発展と国土資源の合理的利用に寄与する。</p>
農業専従者	<p>自営農業に従事した日数が年間150日以上である農業従事者</p>
農地・水・環境保全 向上対策	<p>食料の安定供給の基盤である農地・農業用水や農村の自然環境、景観などの資源を良好な状態で保全管理すること。近年、農村においては、過疎化・高齢化・混住化等の進展による農業生産活動の停滞・後退や集落機能の低下がみられ、農地・農業用水等の資源の適切な保全管理が困難になりつつあるなど、多面的機能の発揮に支障が生じる事態が懸念されている。このため、地域ぐるみでの効果の高い共同活動と、農業者ぐるみでの先進的な営農活動を、一体的かつ総合的に支援する。</p>

用語	説明
農用地区域	農用地区域は、農用地等（農用地（農地＋採草放牧地）、混牧林地、農業用施設用地）として利用すべき土地をいい、市町村が定める農業振興地域整備計画の中で設定し、その変更にあたっては、知事の同意を必要とする。農用地区域は、集団的農用地や土地改良事業の対象地を中心に設定するが、これらと一体的に保全・整備を図るべき土地（例：農地を保全するために必要な山林など）、一定の農業用施設用地及びその他農業上の利用を確保することが必要な土地も含めて設定する。農用地区域は、農業上の利用を確保すべき土地について設定されていることから、農振法上、農業上の用途以外の利用をすることはできないとされており、開発等について規制がある。また、農地法上も、原則として農用地区域は転用許可することはできないこととされている。農業生産基盤整備開発事業や農業生産近代化施設の整備事業などは、受益地として農用地区域が対象とされている。

は

販売農家	経営耕地面積30a以上または農産物販売金額が年間50万円以上の農家
汎用化水田	米の生産調整の導入に伴い水田における基盤整備については、転作のための畑作営農が可能な排水条件の整備が求められており、そのような条件整備された水田を汎用化水田と言う。

ひ

BSE（牛海綿状脳症）	異常プリオン蛋白質が原因とされ、牛の脳組織に海綿状の変化を起こす疾病である。異常プリオン蛋白質を含む肉骨粉を飼料として摂取することによる伝達性疾患と考えられ、2から8年間の長期潜伏期間後、異常行動、運動失調等の中枢神経症状を呈し、発病から2週間から6か月で死に至る。現在のところ、生前診断法や治療法はない。平成13年9月に日本で初めてのBSE感染牛を千葉県で発見した。
水田経営安定対策（旧：品目横断的経営安定対策）	WTOにおける国際規律の強化等に対応するため、認定農業者等に対して国が直接支払いを行う制度。米・麦・大豆等を対象に、諸外国との生産条件格差の是正と収入変動の緩和を内容として、平成19年産から導入される。

ふ

不作付け地	作物の作付けがなされていない農地（畦はんを除く）をいう。
-------	------------------------------

ほ

ほ場整備事業 経営体育成基盤整備事業 県ほ（略称）	主に水田に対して換地を伴う区画整理を行い、耕作道、用排水路をあわせて整備し、機械化農業に適した水田を造成する事業で標準区割りは3反割(30a区画)
---------------------------------	---------------------------------------------------------------------------

用語	説明
ま	
松くい虫（慣習）	マツを食害する昆虫の総称であるが、マツノマダラカミキリ（カミキリ虫の一種）とマツノザイセンチュウ（線虫の一種）によって引き起こされる、マツ枯れ病の呼称として使われている。マツノマダラカミキリのみを指す場合もある。
み	
溝腐病	幹に溝が生じる樹病はいくつかありますが、ここでは特にサンプスギに多く被害が出ている「スギ非赤枯性溝腐病」を指しています。原因は、「チャアナタケモドキ」という菌（キノコの一種）で、枯枝から侵入し幹を腐朽させ、材価を著しく低下させることから、林業上の大きな問題となっています。
ゆ	
有機農業	有機農業の推進に関する法律(平成18年制定・略称：有機農業推進法)では、「有機農業」を「化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと並びに遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業をいう。」と定義している。
遊休農地	農地であって、現に耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれるものをいう。従って、遊休農地は、農業センサス調査上の（耕作放棄地）と（不作付け地の一部）が含まれる。